

取組事例発表

避難シミュレーションの実施について

～避難の難しさを体験してもらうことでの気づき～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町、代表取締役社長：馬場 太郎)は 2024 年 1 月 22 日から 29 日までの期間、BCP 運営チームを中心に取締役・全社員へ避難シミュレーションを模擬的に体験して頂き、避難の難しさを知ってもらうことでの気づきを習得してもらう取組みを実施いたしました。

■ 避難シミュレーションの内容

実際の内容は、下記のような想定を行い、取組みを実施いたしました。

- ・ 模擬通路を使用して 3 人 1 組で避難を行ってもらい、その時間を計測
- ・ 避難は 2 回実施してもらい、1 回目は全員無傷を想定して避難してもらい、2 回目は 3 人の内 2 人がけがをした場合を想定して避難（1 人失明を想定、1 人片足骨折を想定）
- ・ 状況としては 3 分後に津波が来ることも頭に入れてもらう
- ・ 通路上の障害物を避けながら避難してもらうが、左右の机に手をつくのは NG
- ・ 様々な選択肢がある中各々判断して避難行動を実施

まずは、体験を通して知ってもらうことにより、普段から「何に気を付けなければならないのか?」「今、自分にできることは何か?」について意識を持ってもらうために、終了後、ディスカッションとアンケートもあわせて実施しました。



■ 運営チームからの気づいたことについて

今回の活動を通して、全社員へ協力を得られたこと本当に感謝しています。その中で、他部署の方々とディスカッションを通して、減災の考え方などを多くの方へ伝えられ「実施して良かった」と思いました。

ただ、参加者からの質疑などにも答えられないことが多くあり、今後さらに BCP の取組みを通して、自分自身学んでいき、一人でも多くの方へ伝えることが出来るように成長していきたいと考えております。

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com